

地震・防災に関するアンケート調査結果

防災課

1 調査目的

県では、地震防災対策を総合的かつ計画的に推進するために「地震防災行動計画(平成28年度～31年度)」を策定しており、今後の行動計画推進の参考及び防災行政の基礎資料とさせていただくために、皆さんの地震防災の取組状況について伺いました。

2 調査対象等

調査対象: 県政モニター575人(うちインターネットモニター331人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 平成30年6月1日～6月15日

回収結果: 530人(回収率92.2%)

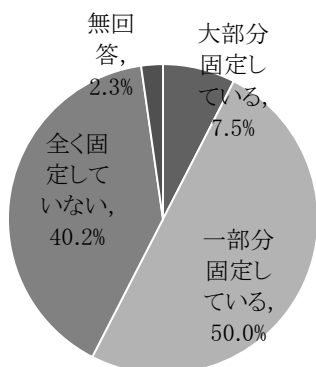
構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

○自宅における大規模地震に備えた取組み

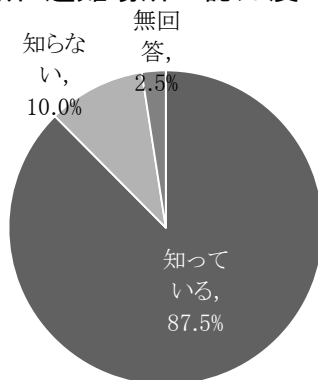
【家具、冷蔵庫、テレビ等の固定】



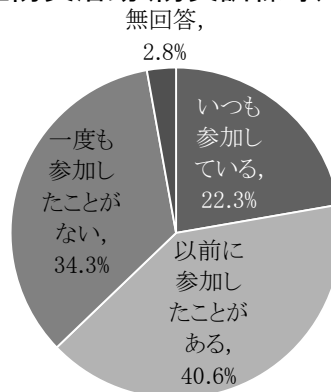
【その他の取組み】

- ・食料、飲料水を備蓄している(56.2%)
- ・携帯電話の充電機、携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している(48.3%)
- ・避難場所、避難経路を確認している(47.0%)
- ・特にしていることはない(10.6%)

○避難所・避難場所の認知度



○自主防災活動(防災訓練等)への参加



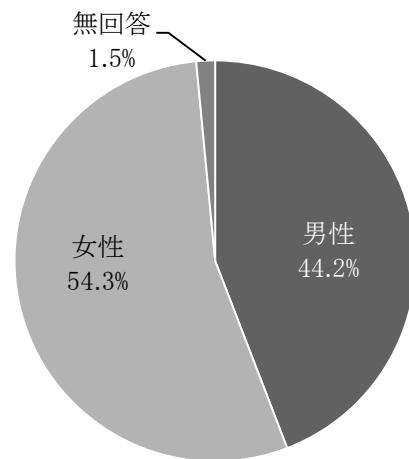
○防災に関して不安に思うこと、詳しく知りたいこと

- ・自宅で行うべき備蓄(種類、量など)の目安(54.9%)
- ・自宅の周辺地域の状況(土砂災害警戒区域、浸水想定区域であるかなど)(36.6%)
- ・自宅の耐震補強(36.0%)

4 回答者属性

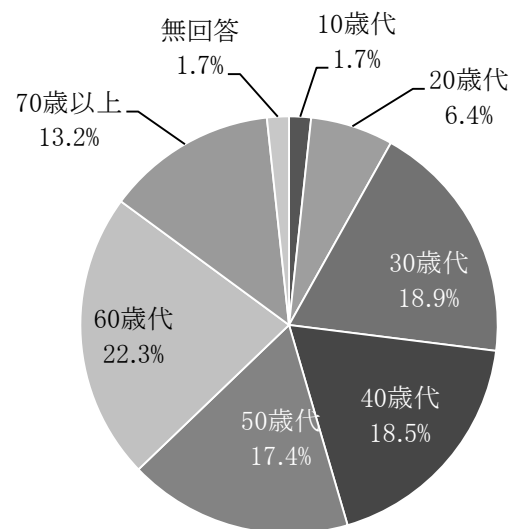
(1) 性別

	人数	割合
男性	234	44.2%
女性	288	54.3%
無回答	8	1.5%
計	530	100.0%



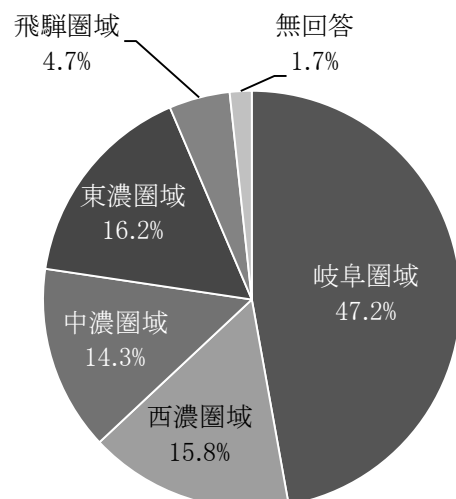
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	9	1.7%
20歳代	34	6.4%
30歳代	100	18.9%
40歳代	98	18.5%
50歳代	92	17.4%
60歳代	118	22.3%
70歳以上	70	13.2%
無回答	9	1.7%
計	530	100.0%



(3) 居住圏域別

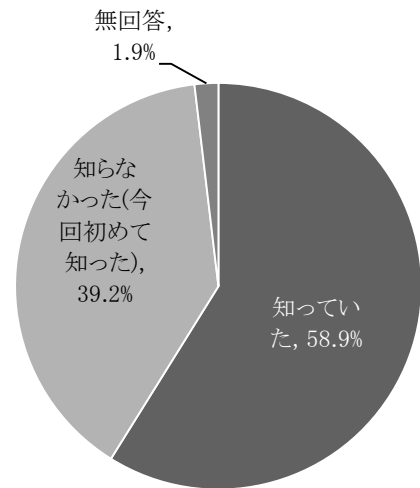
	人数	割合
岐阜圏域	250	47.2%
西濃圏域	84	15.8%
中濃圏域	76	14.3%
東濃圏域	86	16.2%
飛騨圏域	25	4.7%
無回答	9	1.7%
計	530	100.0%



5 調査結果

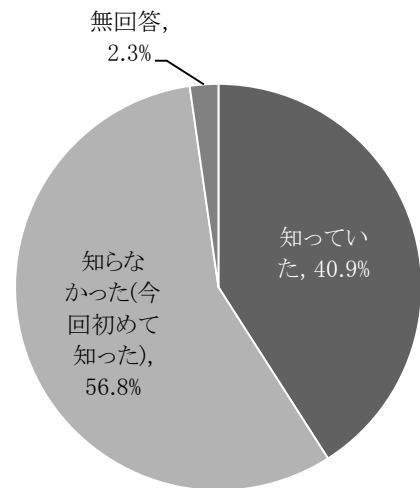
問1 あなたは、ご自分の居住地の近くにある活断層の存在をご存じでしたか。

	人数	割合
知っていた	312	58.9%
知らなかった(今回初めて知った)	208	39.2%
無回答	10	1.9%
計	530	100.0%



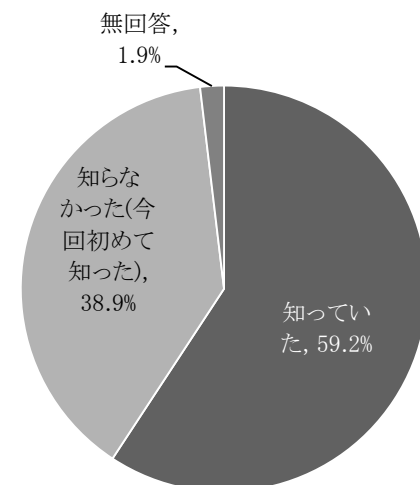
問2 あなたは、お住まいの地域が、南海トラフ地震の「南海トラフ地震防災対策推進地域」か、またはそうでないかをご存じでしたか。

	人数	割合
知っていた	217	40.9%
知らなかった(今回初めて知った)	301	56.8%
無回答	12	2.3%
計	530	100.0%



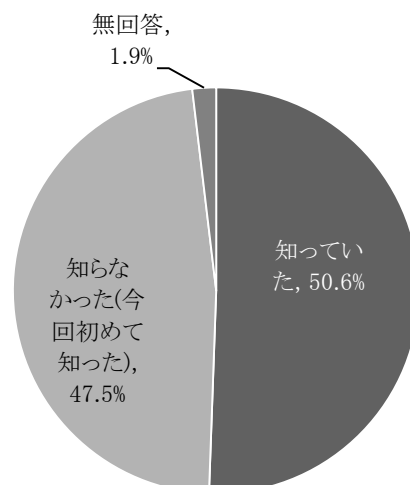
問3 あなたは、行政が実施する「木造住宅耐震診断事業」をご存じでしたか。

	人数	割合
知っていた	314	59.2%
知らなかった(今回初めて知った)	206	38.9%
無回答	10	1.9%
計	530	100.0%



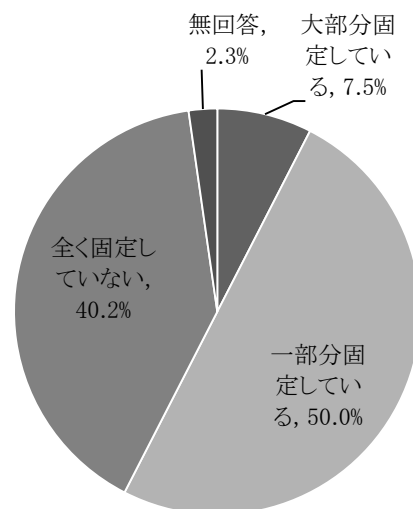
問4 あなたは、行政が実施する「耐震改修工事補助制度」をご存じでしたか。

	人数	割合
知っていた	268	50.6%
知らなかった(今回初めて知った)	252	47.5%
無回答	10	1.9%
計	530	100.0%



問5 あなたのお宅では、大規模地震に備えて家具、冷蔵庫やテレビなどを固定していますか。

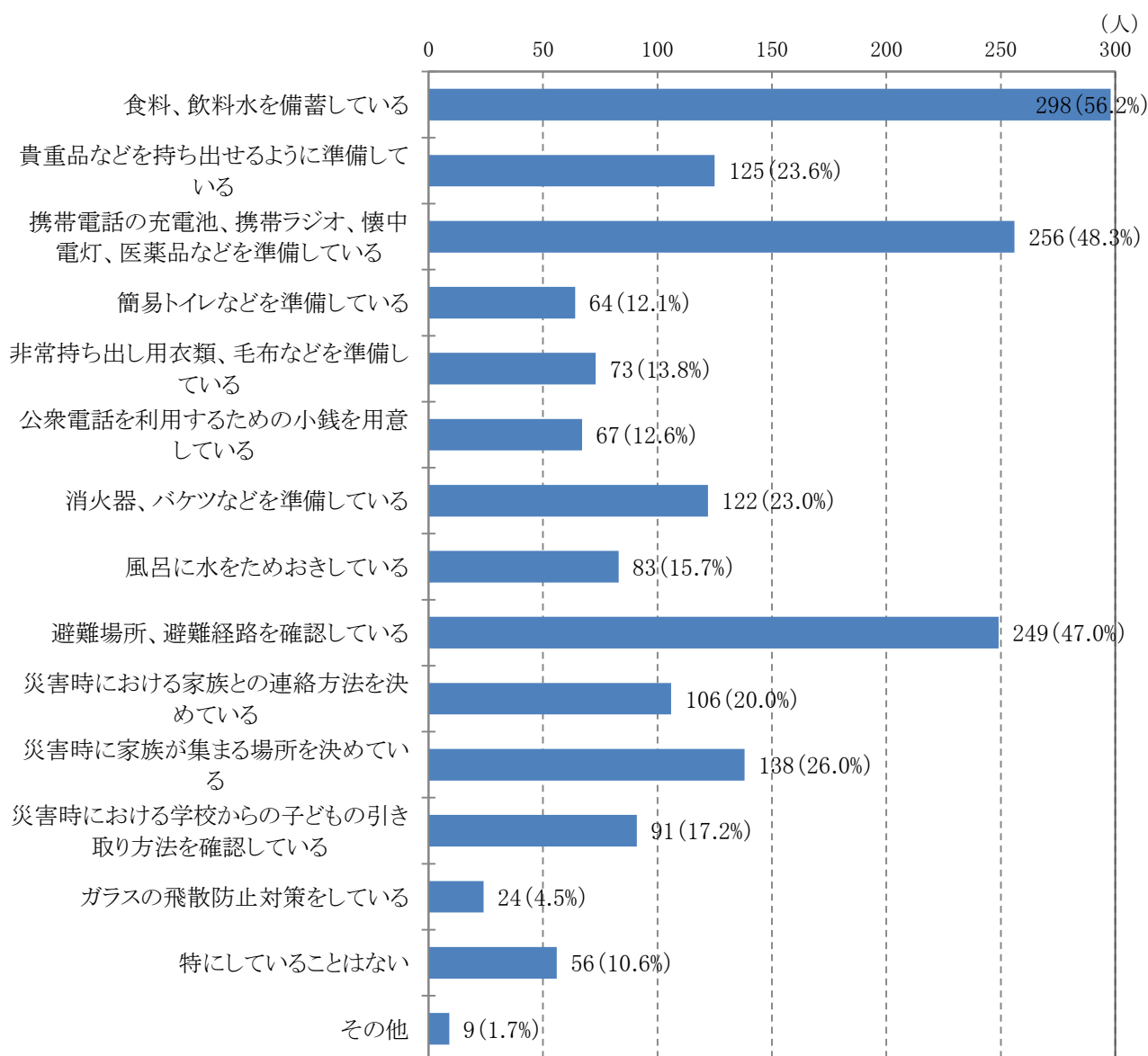
	人数	割合
大部分固定している	40	7.5%
一部分固定している	265	50.0%
全く固定していない	213	40.2%
無回答	12	2.3%
計	530	100.0%



問6 あなたのお宅では、大規模地震に備えていることはありますか。

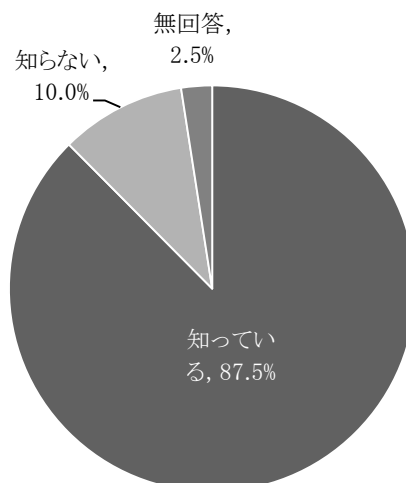
(複数回答) 回答者 530 人

	回答数	割合
食料、飲料水を備蓄している	298	56.2%
貴重品などを持ち出せるように準備している	125	23.6%
携帯電話の充電機、携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している	256	48.3%
簡易トイレなどを準備している	64	12.1%
非常持ち出し用衣類、毛布などを準備している	73	13.8%
公衆電話を利用するための小銭を用意している	67	12.6%
消火器、バケツなどを準備している	122	23.0%
風呂に水をためおきしている	83	15.7%
避難場所、避難経路を確認している	249	47.0%
災害時における家族との連絡方法を決めている	106	20.0%
災害時に家族が集まる場所を決めている	138	26.0%
災害時における学校からの子どもの引き取り方法を確認している	91	17.2%
ガラスの飛散防止対策をしている	24	4.5%
特にしていることはない	56	10.6%
その他	9	1.7%
計	1,761	-



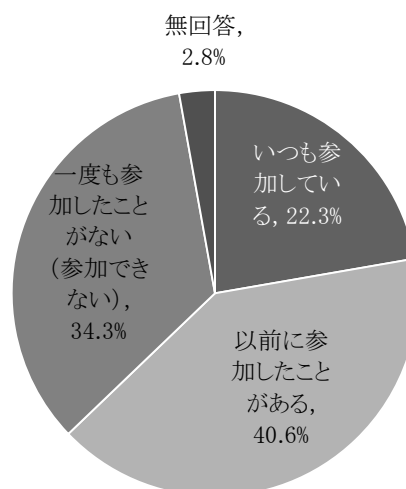
問7 あなたは、自宅近くの指定された避難所・避難場所をご存じですか。

	人数	割合
知っている	464	87.5%
知らない	53	10.0%
無回答	13	2.5%
計	530	100.0%



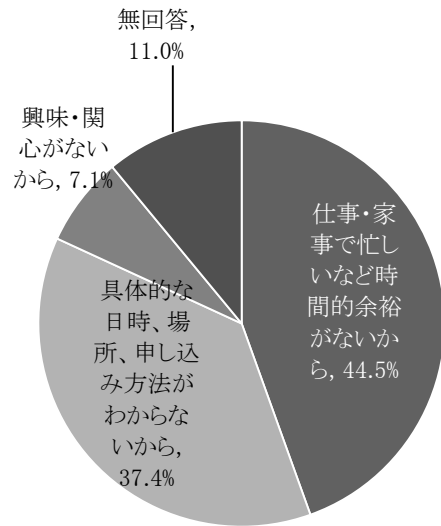
問8 あなたは、自主防災活動（防災訓練など）に参加したことがありますか。

	回答数	割合
いつも参加している	118	22.3%
以前に参加したことがある	215	40.6%
一度も参加したことがない (参加できない)	182	34.3%
無回答	15	2.8%
計	530	100.0%



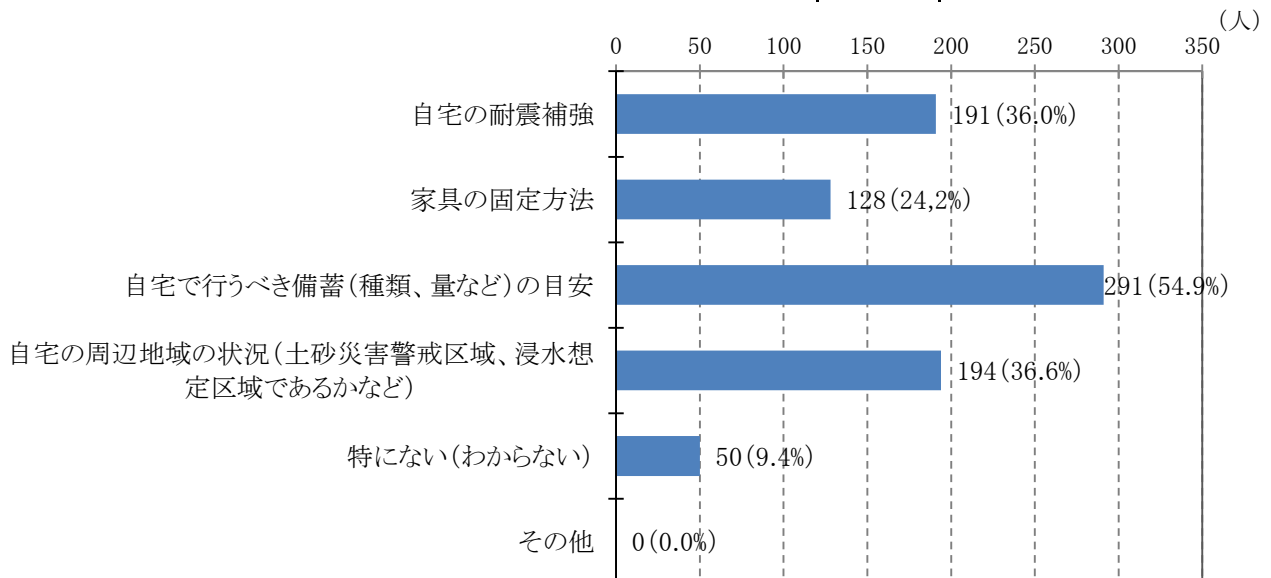
問9 (問8で「一度も参加したことがない(参加できない)」と答えた方)
 参加したことがない(参加できない) 主な理由を次の中から1つあげてください

	人数	割合
仕事・家事で忙しいなど時間的余裕がないから	81	44.5%
具体的な日時、場所、申し込み方法がわからないから	68	37.4%
興味・関心がないから	13	7.1%
無回答	20	11.0%
計	182	100.0%



問10 あなたが防災に関して不安に思うこと、詳しく知りたいことは何ですか。
 (複数回答) 回答者 530 人

	回答数	割合
自宅の耐震補強	191	36.0%
家具の固定方法	128	24.2%
自宅で行うべき備蓄(種類、量など)の目安	291	54.9%
自宅の周辺地域の状況(土砂災害警戒区域、浸水想定区域であるかなど)	194	36.6%
特にない(わからない)	50	9.4%
その他	0	0.0%
計	854	-



問11 その他、県の防災行政に関してご意見などございましたら、お聞かせください。

<避難場所>

- ・ペット(犬)を飼っており、もしもの時避難する場がペット同伴可否であるか分かり易いと助かります。
- ・現在指定されている避難場所がはたして適正なのか。再検討する所も有るのではないかと。
- ・高齢者世帯や障がい者のいる家族の避難方法を詳しく知りたいです。
- ・災害が起き、避難した場合の食事について(子供がアレルギー)。
- ・障害のある方、赤ちゃん、小さな子供が周囲を気にしない避難所があると良い。
- ・身体に障がいのある人の移動と避難場所には、対応できる必需品等の物があるのか不安です。
- ・避難所となる場所を増やしてほしい。
- ・避難所にどれだけ準備品(家庭では準備できない発電機、無線機等)があるのか教えて欲しい。
- ・避難場所である学校体育館の耐震は大丈夫なのか。
- ・避難先での健康管理方法や注意事項等を前もって知っておきたいです。

<防災意識>

- ・自己意識が大切であるため、市民の気持ちに根付くような、日頃の防災アピールを強化するのはどうか。
- ・防災について、目に触れたり、言葉で触れる事ができるのはありがたいです。
- ・自分たちでも防災に関心を持っていざという時に備えようと思っています。
- ・災害が起きてすぐには食べ物ももらえないし1週間は自己で確保が大事だと思います。準備したい。
- ・地震や、土砂崩れ、河川の氾濫など、災害別に避難の方法など分かりやすく示してもらえるとうれしい。
- ・自分の家は鉄骨だから大丈夫と思わず家具を固定したり物は増やさないようにしようと思いました。
- ・行政が支援する前の何日かは個人(家族)・地域で協力して凌いで行けるように促していくことが大切。
- ・防災の資料を見せながら子供達にも意識を持つ機会を作ってもらえたらいいと思います。
- ・行政として東北の地震で大変だった経験などを県民に知らせていくと、意識する人が増えると思います。
- ・南海トラフ地震について、3市町村以外の全ての市町の指定も知らない方が多くいるのでは。

<防災行政に関する広報>

- ・「迫る地震に備えましょう」のパンフ、内容がわかりやすくすばらしいものでした。
- ・専門家の派遣や講習等をもっと行い、県全体が一定水準以上になるよう働きかけをして欲しいです。
- ・子供が小さいのでママと子供が参加できる防災イベント(炊き出しの方法など)があると嬉しい。
- ・消防団や水防団の活動について、もう少し広報などで取り上げていただきたい。
- ・浸水想定区域をホームページ以外の方法で知らせてほしい。高齢者の方はホームページを見ないため。
- ・岐阜県内の活断層はどのような状況にあるのか、濃尾地震などの記憶もあって不安に思うことがあります。
- ・乳幼児連れでの避難等の注意点などの冊子があると嬉しいです。
- ・防災についての情報を市報(広報)以外で知る方法があれば助かります。
- ・防災について子供と若い世代にもわかる様、漫画的に文書を絵を入れて興味をもってもらえると良い。
- ・防災行政について、スーパーのイベントのように短時間での講習や体験会などを検討してほしい。

<防災訓練>

- ・「自主防災活動」に参加しているが、水防・消防演習などを一般の方が参加しやすい長さにしてほしい。
- ・なかなか参加はできませんが半年に一回ペースで避難訓練は必要かと思います。
- ・もっと防災訓練の回数を増やすと良い。(季節毎)
- ・自主防災活動が少なすぎると思います。参加する意思はあるため、もっとやって欲しい。
- ・子供の小学校や地区での防災活動が盛んなので、防災に関して不安はないです。いつも感謝しています。
- ・自治会に未加入の方にも防災訓練に多く参加されるように行政として呼びかけが必要だと考えます。
- ・地域住民参加型の防災訓練をしてほしい。
- ・防災訓練について、日頃、TVやパンフレットなどで見たり聞いたりしていますが正直、実感がありません。
- ・防災訓練の予告を新聞等で頻繁に行い、だれもが準備し参加できる旨告示していただきたい。
- ・防災訓練の日時を一度だけではなく、都合のよい日を選べるようにしてほしい。

<防災対策>

- インフラが停止した後の復旧見込み等の情報配信について不安が有ります。
- 各市町村の主要な施設はいち早く耐震補強をして頂きたい。市役所、消防署、指定避難場所など。
- 郡部や田舎(へき地)への支援活動は、都市部と同じように受けることができるのか不安。
- 現在は情報化社会なのでインターネットやスマホを持っていない方への情報提供のあり方。
- 県に町内や地区単位で早急に「地区防災計画」の策定の強い指導をお願いしたい。
- 県には市町村間の調整や国あるいは他の都道府県との連携等に注力してほしい。
- 地区ごとに防災備蓄をすべきだと思う。私の住む地区にはない。
- 支援物資や食糧の受け取り方法や受取場所が分かる方法を知るにはどうしたらいいか。
- 備蓄しとくべきものをある程度目安として各家庭に配っていただくと有難い。
- 防災減災は市町村単位で具体的に考えることが必要と思う。